

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成24年度第7回定例会会議記録
開催日時	平成24年10月24日（水曜日）午後6時30分から午後8時10分まで
開催場所	田無公民館第二学習室
出席者	委員：須磨田純子、千葉桂子、中曾根聡、渡辺文子、畠山昭裕、馬場真由美、西原みどり、大島眞之、福島憲子、新藤浩伸 事務局：相原館長、大平主幹、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長 欠席：上田悟司、野沢幸美、加藤眞理、萩原建次郎、川口館長補佐
議題	1 平成24年度第6回定例会の記録について 2 報告事項 1 行政報告 2 公民館だより編集室報告 3 都公連委員会運営委員会報告 4 第53回関東甲信越静公民館研究大会報告 3 事業計画書・報告書について 4 協議事項 1 東京都公民館大会に向けて 5 事務連絡及び情報交換 1 第50回東京都公民館大会（12月9日）について 2 公民館防災マニュアルについて
会議資料の名称	資料1 平成24年度西東京市公民館運営審議会第7回定例会の開催について（通知） 資料2 平成24年度第6回定例会会議録 資料3 平成24年度公民館主催事業計画書（6件） 1 「絆の時代」の道徳の話をしよう（ひばりが丘） 2 どうする 環境とエネルギー（保谷駅前） 3 芸術・文化講座2文学編 「宮沢賢治の不思議・童話の豊饒な世界」（谷戸） 4 薬膳講座 発酵食品を味わう（保谷駅前） 5 エコ紙トンボ工作教室・作って飛ばそうエコ紙トンボ（田無） 6 キッズアカデミー・親子で手作り凧揚げ編（柳沢） 資料4 平成24年度公民館主催事業報告書（3件） 1 はじめての環境講座 子どものために、みんなのために、これからの考えよう（田無） 2 樹木医と巡る樹木観察（保谷駅前） 3 「発見しよう、絵本ワールド」親子の真ん中に絵本を（谷戸） 資料5 第50回東京都公民館研究大会開催要項 資料6 公民館だより編集室報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り（人） 無し
会議内容	
<p><u>議題1 平成24年度第6回定例会の記録について</u></p> <p>○事務局： 会議録2ページ7行目、菅原主任を菅沼主任に訂正。その他承認。</p> <p><u>議題2 報告事項</u> 1 行政報告</p>	

事務局：
特になし

2 公民館だより編集室報告

○委員：
資料6に沿って説明

○委員：
公民館だより読者モニター制度について、市民スタッフコーナーもあるので、重複しないよう内容・掲載方法について検討し、具体案を公運審に提案していただきたい。

○委員：
公民館だよりに掲載予定の川柳の応募状況の報告お聞きしたい。

○職員：
現在7件の応募がある。

○委員：
公運審コラムについて、実際に何に書いてどこに提出するのかがわかりにくいため、編集委員の方で、提出先、書式等まとめていただき、説明をお願いしたい。

○職員：
14字×40行の分量であればどんな書式でも構わない。各公民館で受付可。

3 都公連委員部会運営委員会報告

○委員：
10月6日に第2回研修会を開催。記録についてはまだ挙がっていないので、11月に報告予定。

○委員：
事例がたくさんあって大変わかりやすい研修だった。西東京市は市民活動が大変活発で盛んであると感じた。

○委員：
改めて大変勉強になり、いい機会だった。公民館の職員はすぐに変ってしまう傾向にあるが、なるべく一定の期間はいてほしいと感じた。

○委員：
さすが西東京市という言葉が出てくるくらい、周りから褒め言葉しかでてこなかった。大変わかりやすく、聞きやすい研修だった。

4 第53回関東甲信越静公民館研究大会報告

○委員：
長野県松本市で開催され、公運審、職員合わせて11人参加。15分科会の中の第10分科会「環境とエネルギー学習、持続可能な社会を願って」に全員参加。司会は西東京市谷戸公民館の専門員である山本氏、発表者は昭島市の遠藤氏、助言者は中岡氏。後半は4班に分かれワークショップを実施。

議題3 事業計画書・報告書について

1 報告書12ページ 「発見しよう、絵本ワールド」親子の真ん中に絵本を（谷戸）について

○委員：

視野を広くもった内容となっており、大変わかりやすく、素晴らしい講座であると感じた。

○委員：

特に良いと感じたところは、美術館と公民館が連携をとったということである。お互いの足りないところを補充しうる事業であり、社会教育全体として大変良い事業である。

2 報告書10ページ はじめての環境講座 子どものために、みんなのために、これからを考えよう（田無）

○委員：

備考欄について、その時の状況と公民館の対処を報告してほしい。

○事務局：

講座参加者が椅子から倒れ頭部を打ったため、救急車を呼び病院へ搬送。保育室で預かっていた子どもはしばらく公民館職員が預かり、後ほど家族に引渡した。講座参加者に緊急の連絡先を聞いていなかったため、すぐに家族と連絡をとることができなかった。今後このようなことが起こった際、早急に家族等に連絡できるよう緊急連絡先のカードを作成することとなった。倒れた母親は2日後無事退院した。

3 報告書全般について

○委員：

どの報告書も大変よく書けている。計画の段階から何を目的とし、どのように講座を組み立てるかを考えることは大変な作業であるが、このような形で報告書が出ることにより、講座の意義や問題点、改善点が明確となり、次の講座に向けての新たな視点を生み出すことができる。この報告書の最大の意義であると感じる。

4 計画書4ページ 「絆の時代」の道徳の話しよう（ひばりが丘）

○委員：

「道徳」とあるが、公民館の講座でどのように取り扱うのか。

○事務局：

本講座は「道徳」を高めようという主旨のものではなく、道徳とはどういったものなのかということ、意識的に抽象度を高めた話をしたいと考えている。講師である寺田氏もリベラルの立場の方なので、一定の道徳的価値観を強く推し進めるようなことはしない。

○委員：

次年度以降も継続実施の予定はあるのか。

○事務局：

講座の状況次第では継続実施もありうる。

5 計画書8ページ エコ紙トンボ工作教室・作って飛ばそうエコ紙トンボ（田無）について

○委員：

計画書の目標のひとつに、子ども同士の交流や地域の大人たちとの交流とあるが、親子の交流が書かれていないので入れたほうがよいと考える。備考欄に関しては、すでに地域活動をしている人がほとんどである。

6 計画書6ページ 芸術・文化講座2文学編「宮沢賢治の不思議・童話の豊饒な世界」（谷戸）について

○委員：

できれば保育付きの講座にするなどして、子育て中のお母さんにぜひ受講してほしい講座である。

議題4 協議事項

1 東京都公民館大会に向けて

○委員：

大会当日、選挙の関係で会場がひとつになる可能性有。

議題5 事務連絡及び情報交換

1 第50回東京都公民館大会（12月9日）について

○事務局：

出欠と希望分科会の確認。本日欠席の委員については、後日連絡し確認する。

2 公民館防災マニュアルについて

○事務局：

11月に各館防災担当者が集まり意見交換をし、11月・12月に素案を作成し、1月に公運審に提起したい。

○委員：

できれば12月の公運審でたたき台を提出していただき、公運審での意見を吸い上げた上で、マニュアル作成に反映させてほしい。

議題6 その他

1 公民館の事業評価について

○事務局：

先月方向性を出し、前回の事業計画書・報告書の作成メンバーを中心に、11月から始めて来年3月までには中間報告ができるように進めていく予定。

2 利用者懇談会について

○委員：

利用者懇談会の報告は来月であるが、参加した公運審の意見・感想をお聞きしたい。

○委員：

公運審として初めて参加させていただき、市民の間でかなり意識の差があり、危機的状況であると感じた。アンケートの意見・要望はとても大事であり、利用者懇談会に参加していない人に対してもアンケートを書いて提出してもらい、今後に反映してほしい。

○委員：

もっといろんな人が集まって話し合える場を提供して欲しい。公民館がどういうところなのかという話を聞くのもひとつの手ではあるが、懇談しながらわかっていくことも、公民館のよさであり、説明会で一方的に話を聞くことだけでは得られないものが得られるのではないかと感じる。

○委員：

公民館そのものの認知度が低く、貸し館と理解している市民がほとんどである。公民館の活動や事業が内部にとどまっていることが多いので、他部署と連携を持つことが大切であると感じる。

○委員：

コミセンと公民館の違いと云ったら、いい職員がいるかいないかとも言える。公民館の利用者の中にそのことを分かっている人はほとんどいない。

○館長：

利用者懇談会で聞かれる意見の第一声は、部屋が取れないという声である。このことから、利用者の理解として、公民館が貸し館であるとの認識が強いことがわかる。今上げられた意見を館に持ち帰って協議したい。

○委員：

柳沢公民館では演芸関係のサークルが多い。ロビーコンサートの実行委員会のメンバーのほとんどは、ずっと公民館が存続すると考えており、危機感がない。公民館側が実行委員会にもっと話をするなどして、積極的に働きかければ原動力となるはず。

○委員：

主体的な利用者が少ない理由として、公民館発祥当時の利用者と最近利用し始めたばかりの利用者との意識に大きな格差があるからだと感じる。適正配置の資料を配布し、説明をしても市民から意見が出ない状態であった。利用者が受身の姿勢が強い。市民が公民館について学習することが必要。

○委員：

公民館だよりは公民館を利用している人の目に留まるメディアなので、既に出ている文書の範囲内の情報に関しては、公民館だよりに載せることは可能である。まずは公民館の利用者に情報を提供することが大事であると考えるので、公民館だよりに適正配置等の進捗状況の報告を掲載してみてもどうか。

○館長：

ご提案ということで、協議させていただく。

次回第8回定例会について

第8回定例会は11月28日（水曜日）午後6時30分から田無公民館第二学習室にて開催。